

DNC事例1: 類似試験問題の成績推移

- ◆ 「大学入試センター試験における類似試験問題に係わる調査」, '00年秋。
- ◆ 解法に同じ単元を用いる設問を抽出: 数学
 - ◆ '79年~'00年の22年間の数学の試験問題
 - ◆ 数学作題経験者に分類・選別の協力
 - ◆ 最終的に4領域、計13設問
- ◆ 上位層の成績の推移を比較
 - ◆ 4万番、9万番、12万番、20万番、全受験者
 - ◆ 国立大上位層(4万)、国立大全体(9万)
- ◆ 『わずかに漸減的な傾向が見られるが、これが「学力」の変化によるものとは、今回の調査からは結論することはできない。』

7

DNC事例2: 共通試験問題を利用した等化

- ◆ 「大学入試センター試験得点の標準化の試み」, '01年。
- ◆ 「大学入試センター試験得点の標準化の試み -項目反応理論による方法-」, '03年。
- ◆ 共通問題をアンカーにした比較: 英語、数学
 - ◆ '81年~'96年の中の10年分の試験問題から利用
 - ◆ 共通の試験問題を順に含む問題冊子: 10冊
 - ◆ 各冊子ごとに40名の被験者に解答させる。計400名
 - ◆ 一つの大問に対しては120名が解答
 - ◆ 共通部分の成績を元に非共通部分の特性を把握
- ◆ 『学力に関しては、その時系列的变化として、経年的な学力の上昇や下降といったシステムティックな傾向を見出すことはできなかった。』

8

これらの事例から判ること

- ◆ 経年傾向や、明確な低下は認められない
 - ◆ 「試験で測り得るもの」は落ちているとは言えない
 - ◆ 受験指導の賜物? パターン化されたテクニック?
 - ◆ 従来からの試験方法の限界? 対策はある?
- ◆ でも、“何か”が落ちているとは感じる
- ◆ 落ちているとすると.....
 - ◆ 試験で測ってこなかったもの or/and 測り難いもの
 - ◆ 教科学力以外? 「幅広い」教科学力?
 - ◆ 論理的思考力? 考え方? 意思表現力?
 - ◆

9

今後の方策

- ◆ 落ちていると思われるもの
 - ◆ どうやったら測れる?
 - ◆ どうやったら支えられる? 上昇させられる?
- ◆ 測定可能な入試方法に変更する・工夫する
 - ◆ 昨年の薬学部AOは秀逸でした
- ◆ 受験テクニックは無効化させたい
 - ◆ 暗記より思考: 「暗記数学」なる領域
- ◆ 生徒に知ってほしいこと = 広報?
 - ◆ “考えること”の楽しさ ◆ 多方面への興味・関心
 - ◆ 自主的な学び ◆ 大学の楽しみ方
 - ◆

10

“考えること”に必要な道具

- ◆ 考えること: 多くのものに通じると思われる
 - ◆ 学習意欲、学習目的、興味、関心
 - ◆ 論理的思考力、表現力
 - ◆
- ◆ 道具としての「言語」
 - ◆ 数学: 理系的な論理的思考を記述
 - ◆ 国語: 言語そのもの、作文、表現
- ◆ 言語運用能力、国語、日本語(日本人の場合)
 - ◆ 蛍雪時代 9月臨時増刊「全国大学 推薦・AO入試年鑑」

11

本日のご講演に対して

- ◆ 言語

}	数学の観点から: 梶原先生
	作文の観点から: 渡辺先生
- ◆ 私の注目点
 - ◆ 「考えることが好きな学生」に入学してきてほしい(私見)
 - ◆ 「落ちていると思われるもの」は何?
 - ◆ “今”の学生の特性を知りたい
 - ◆ 新しい測定法の模索 <=== 試験の研究
 - ◆ 課題提示型試験? (総合試験の一種)
 - ◆ どうすれば低下を防げる?: 日本的な問題
- 考えるなら今!! 一緒に探ってみませんか?

12